
分科会を踏まえた個別プロジェクト組成

個別プロジェクト組成 ～味噌

弊社と連携している商社から加工品部会・味噌分科会メンバーの紹介打診があり、弊社経由でEU（スイス）向け輸出のマッチング支援を行った。

商社と味噌メーカーのマッチング支援概要

商社/ 現地 ニーズ	輸出先国	・ スイス （商社と業務提携しているバイヤーの所在地）
	希望品目	・ 白味噌（ペースト状） ・業務用で 20kg単位
	取扱数量	・ 年間2,000kg程度
	その他 条件	・ 賞味期間9か月 以上 ・ 常温 輸送・保管可能 ・ グルテンフリー （材料にグルテンを含む原材料を含んでおらず、同工場内でグルテンの取り扱いがある場合コンタミのリスクが20ppm/KG以下であること）
弊社マッチング 支援概要		・ 商社からの依頼・打診を受け、全味工連・都道府県味噌組合、輸出産地リスト登録のある味噌メーカー宛に一斉照会（55件） <ul style="list-style-type: none">➢ 関心ありとの回答があったメーカーを取りまとめ、商社側に打診・詳細情報の連携サポート（10件）➢ 商社側ニーズに即したメーカーをマッチングさせ、具体的な見積提示・商談実施に繋げた（1件）

木桶仕込み醤油PJ ～活用メニュー検討

木桶仕込み醤油と他の日本産品コラボレーションによる、効果的な活用の仕方・現地に向合うメニュー提案が重要という認識のもと、カンパチへの活用メニューを検討。

木桶仕込み醤油輸出促進コンソーシアムの概要

目的

- 米国・オランダ・東南アジア等の新規販路の開拓
- 木桶文化の伝承・海外でのブランド化

木桶仕込み 醤油の パッケージ



木桶仕込み醤油×カンパチセット輸出(シンガポール)



- 地域商社と漁協が連携して、木桶仕込み醤油を活用した漬け丼セットを商品開発中
- シンガポール大手EC「Redmart」での販売を目指しながら、木桶仕込み醤油の商品ストーリー等を併せてプロモーションする予定

木桶仕込み醤油PJ ～海外バイヤー商談会

木桶による発酵文化サミットに、海外バイヤーを呼び込み、オンラインも駆使して木桶仕込み醤油の輸出拡大に向けた商談会を行った。

木桶仕込み醤油の海外バイヤー商談会

木桶による発酵文化サミット



- 毎年1月に発酵文化サミットを開催し、**新桶づくり**や**トークイベント**、**商談会**等を実施
- 会場は“木桶の聖地”であり、Netflixやウォールストリートジャーナル等のメディア露出で、**インバウンド誘致に成功**し、**欧米観光客が増加**

海外バイヤーとの商談会



- 2022年の発酵文化サミットでは、オンラインも駆使し、**木桶醤油13事業者の商談**を実施
- 海外バイヤーもサミット参加し、木桶を実際に見て、**醤油と刺身・牛肉等を食べ比べ**することで、**海外展開の戦略検討に繋がる機会**となった

木桶仕込み醤油PJ ～木桶仕込み味噌への展開

木桶仕込みの発酵食品による輸出促進コンソーシアムは、木桶仕込み味噌にも展開しており、「KiokeMiso」のブランド確立による海外への輸出拡大を目指す。

木桶仕込み味噌輸出促進コンソーシアム※の概要

目的

- 「KiokeMiso」ブランド確立による、海外への木桶仕込み味噌の輸出拡大

実施内容

- 「プレミアム木桶味噌ラーメン」等の木桶仕込み味噌×他品目のメニュー提案
- 健康志向の高い消費者等を対象とした、木桶仕込み味噌の歴史や、データに基づいた成分分析によるタンク味噌との違いの提示、オンライン蔵ツアー体験等を通じたエデュケート 等

参画事業者

- 実践料理研究家
- 木桶仕込み味噌製造事業者
- 木桶職人
- 輸出商社
- 輸出アドバイザー 等

木桶味噌イメージ



和菓子・スイーツの米国向け輸出実証事業概要（分科会での議論を踏まえて別事業にて実施）

輸出に意欲がある和菓子・スイーツ事業者の商品を米国西海岸向けにテスト輸出・提供することで、継続した商流構築及び新規輸出品目・プレーヤーの掘り起こしを目指す。

和菓子・スイーツ輸出実証事業概要

目的

- 和菓子・スイーツのテスト輸出・サンプル提供を通じて現地消費者の反応・ニーズを把握するとともに、後続の商流構築に繋げることで新たな輸出品目・プレーヤーの掘り起こしに貢献する
- 輸出難易度（規制・輸送）が高いが、市場ポテンシャルが大きい米国向けの輸出拡大・他国への横展開に繋げる

対象者

- 米国向け輸出の準備が完了している和菓子・スイーツメーカー
- ※基本的に米国向け輸出実績があり、FSMA（米国食品安全強化法）等の規制対応済みの事業者

輸出先国・提供チャンネル

- アメリカ・ロサンゼルスにあるリトルトーキョー内のアンテナショップ（TACOM(全日本菓子輸出促進協議会)が運営）

実施時期

- 2022年1月19日～23日

備考

- 商品費は全額事務局負担、輸送費は全額事業費から支出されるため事業者の支出負担は発生しない
- メーカーからは、国内で添加物・ラベル対応等を終えた産品を調達させて頂き、事務局を通じて空輸（冷凍・冷蔵）による輸送実証を行う

連携事業者 ~TACOM（全日本菓子輸出促進協議会）

補助事業を活用して米国でのアンテナショップ設置を行ったTACOMと連携した上で、和菓子・スイーツの輸出実証を進める。

TACOM概要



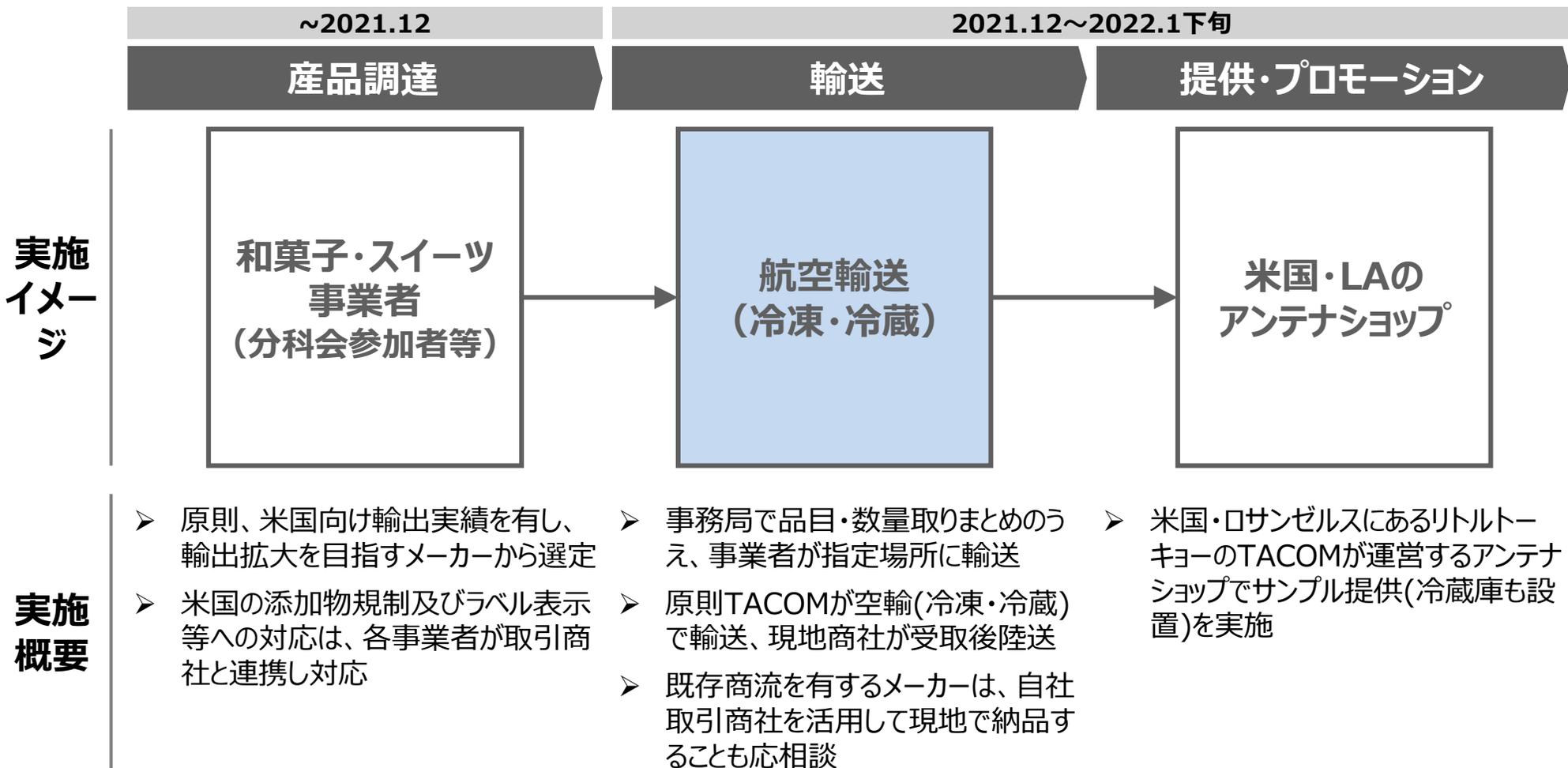
- 1958年に前身となる旧全日本菓子輸出工業協同組合連合会が設立
- 会員は、45社3団体（2022年2月現在）
- 1982年の中国東南アジア等市場調査展示会出展実施を皮切りに、10か国・地域の展示会に出展
 - 米国、中国、香港、台湾、シンガポール、タイ、マレーシア、カンボジア、フランス、ドイツ

今年度のプロモーション

- アメリカPR事業（農林水産省補助事業）
 - アンテナショップでのPR（ロサンゼルス）
 - Candy Show
 - Sumer Fancy Food Show
 - Winter Fancy Food Show
 - 大学・スーパー・CVSでのPR
 - Prop65と栄養成分表示検査
- ジェトロ補助事業
 - 香港PR事業
 - オーストラリアPR事業
 - タイPR事業
 - シンガポールPR事業
 - 台北PR事業
 - カンボジア一州一品展示会
 - ケルン国際菓子専門見本市

和菓子・スイーツの米国向け輸出実証事業の流れ（案）

TACOMが実施主体の加工食品補助事業と連携して和菓子・スイーツのテスト輸出を行い、米国向け輸出拡大の契機とし、和菓子・スイーツ輸出の機運向上を図る。

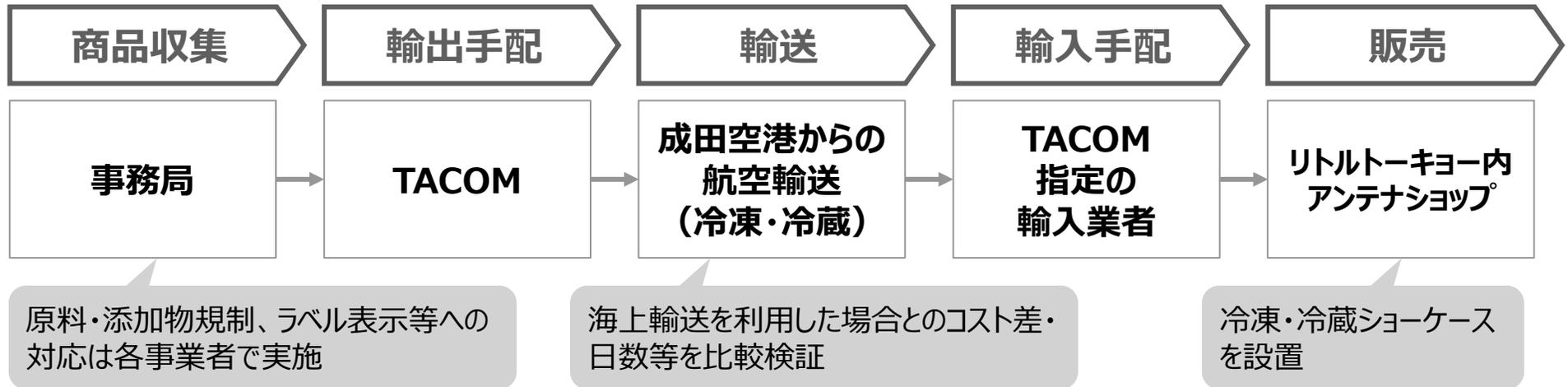


← 輸出実証事業予算 TACOMの補助事業予算 →

航空輸送スキームの詳細・ポイント

空輸により小ロットで高品質な商品を米国に輸出することにより、新規輸送ルートの開拓、及びコスト面・オペレーションにおける課題等の検証を行い、今後の取組につなげる。

和菓子・スイーツの米国向け輸出実証事業（空輸）



実証概要

- 海上コンテナ確保が困難な状況が続くため、冷凍混載空輸による和菓子・スイーツの新規輸送ルートの確立を図る
- 事務局にて、空輸での輸出を希望するメーカーの商品・数量を取りまとめ、TACOMを通じて商品の空輸(冷凍・冷蔵)を実施(成田空港発)
 - TACOM補助事業と同様のスキーム
- 現地アンテナショップには冷蔵ショーケースを設置し、現地消費者の反応を確認するとともに、販売までのコールドチェーン確認時の品質保持手法の確認も行う

本実証事業で対象とする事業者候補（現時点想定）

和菓子・スイーツの米国向け輸出実証事業では、米国輸出の準備が概ね完了している事業者について輸出実績を作り、レベルを引き上げていくことに主眼を置いた

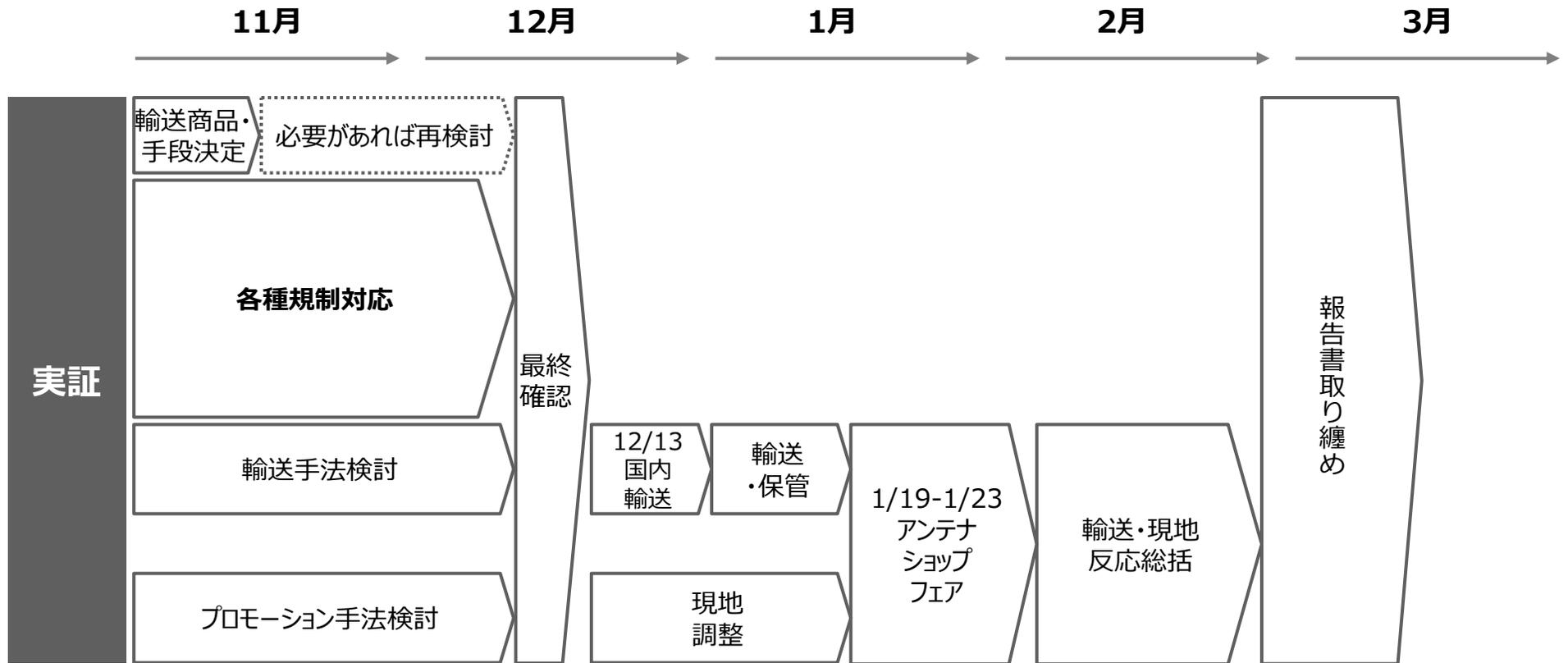
米国輸出に向けた熟度

	定義	事業者（例）	事業対象
米国輸出実績のある事業者	<ul style="list-style-type: none"> 既に米国に販路を開拓して定着済みであり、その過程で独自の経験とノウハウを身に付けている事業者（自力で輸出できるので、事業者の実証事業ニーズは比較的強くない） 	菓子メーカーA	対象 (アドバイザー的役割を期待)
米国輸出の準備が概ね完了している事業者	<ul style="list-style-type: none"> アジア等他地域への輸出実績やノウハウは持っており、米国輸出の機会を窺っている事業者 米国に輸出したことはあるが、より強固な経験とノウハウを身に付けたいと考えている事業者 	菓子メーカーB 菓子メーカーC	重点対象
米国輸出の準備ができていない事業者	<ul style="list-style-type: none"> 添加物等の規制対応等の観点から米国輸出の準備が整っていないと思われる事業者 米国への輸出意欲が低い事業者 	その他メーカー	対象外

検証のポイント

- 空輸により小ロットで高品質な商品を米国に輸出する場合のコスト面での実現可能性・オペレーション（コールドチェーンの確保等）を確認
- FSMA・カリフォルニア州Prop 65等の米国輸出に必要な手続・ハードルの確認
- 提供・解凍時までの一気通貫でのコールドチェーンの状況・品質保持手法の検証
- 和菓子・スイーツの現地ニーズ・消費者の反応
 - 商品の訴求・現地消費者の反応確認を行う

事業スケジュール



検討会

11/1
第1回検討会
(実証方針の検討)

12/21
第2回検討会
(実証計画の確認)

2/21
第3回検討会
(実証総括)